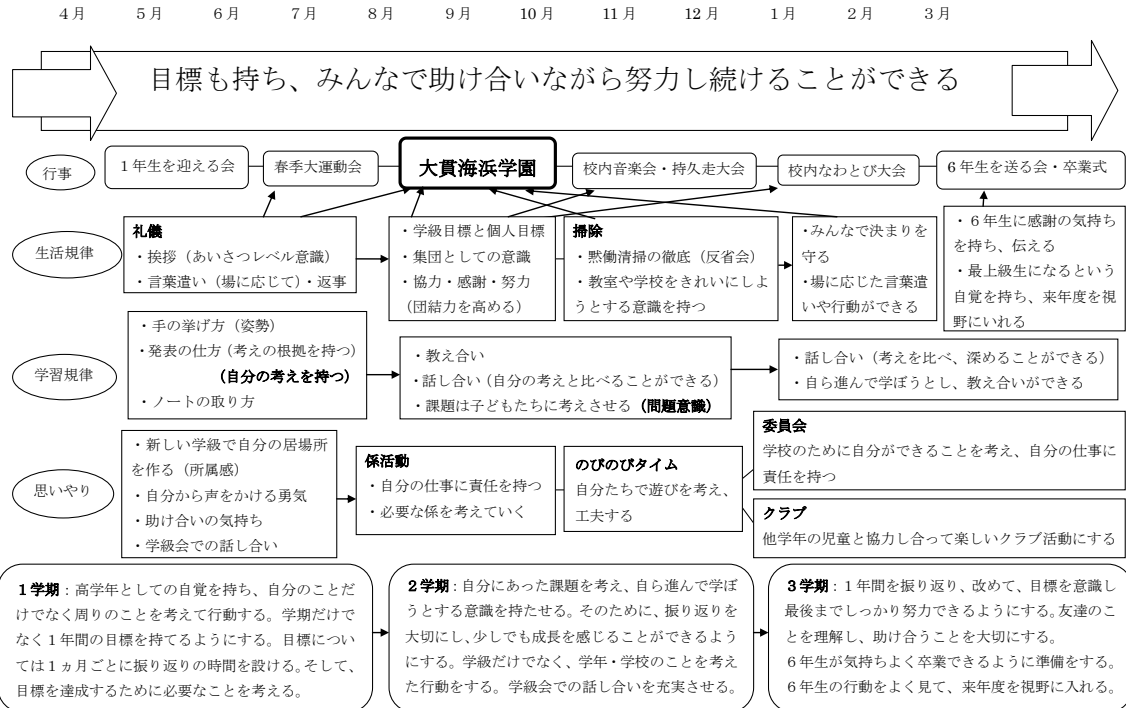
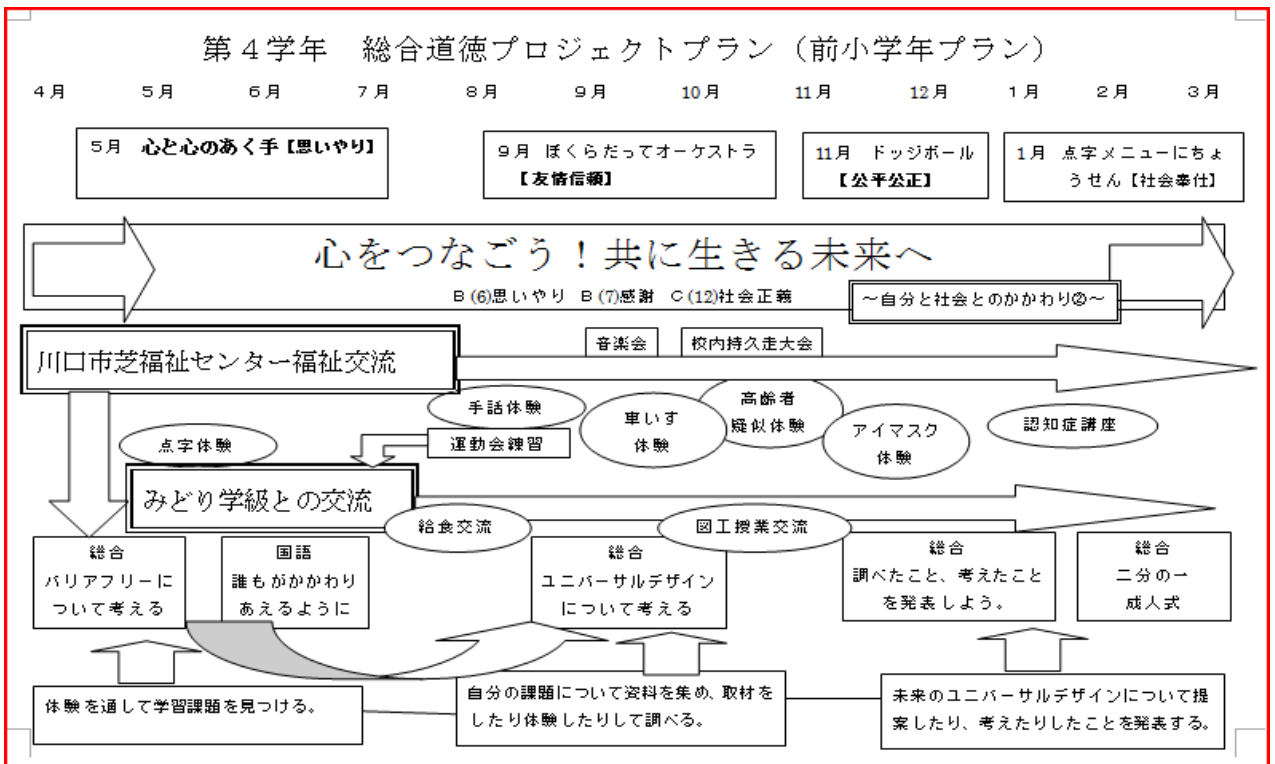


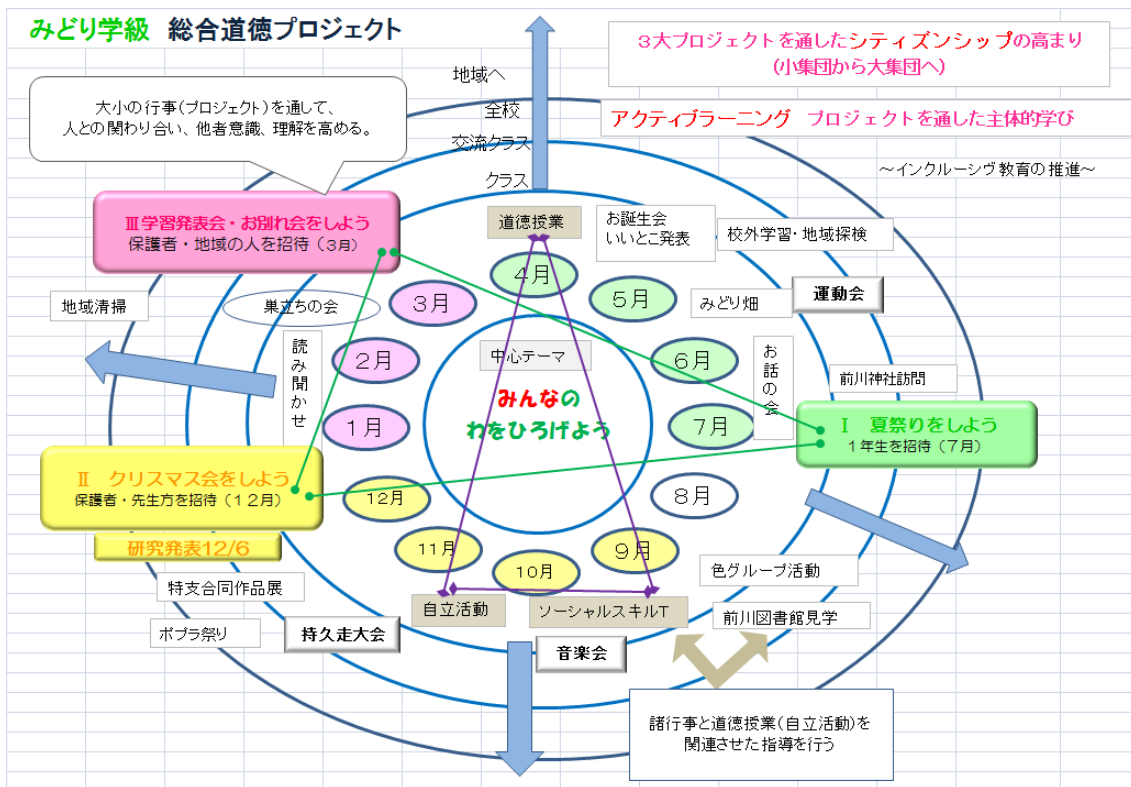
5年2組 学級経営プロジェクトプラン（心の泉）



【資料1】学級経営プロジェクトプラン



【資料1】学年経営プロジェクトプラン



【資料1】学年経営プロジェクトプラン

平成28年度 日課表・週課表 等について

平成28年 4月 1日(金) 川口市立前川小/教務

《日課表》

	平日常課	特別日課	備考
チャレンジ学習	8:30~8:40		毎週木 8:30~8:40 講話朝会・児童集会 音楽朝会・体育朝会 音楽朝会
1校時	8:50~9:35	8:40~9:25	
5分休み	9:35~9:40	9:25~9:30	
2校時	9:40~10:25	9:30~10:15	
業間休み	10:25~10:45	10:15~10:30	【中】20分【替】15分
3校時	10:45~11:30	10:30~11:15	
5分休み	11:30~11:35	11:15~11:20	
4校時	11:35~12:20	11:20~12:05	給食の無い期間 ⇒12:20下校
給食	12:20~1:15	12:05~1:00	
清掃	1:15~1:30	1:00~1:15	木・のびのびタイム
昼休み	1:30~1:50	1:15~1:35	【中】【替】とも20分間
5校時	1:50~2:35	1:35~2:20	
5分休み	2:35~2:40	2:20~2:25	委員会・クラブ活動
6校時	2:40~3:25	2:25~3:10	木⇒2:50~3:35

《集団下校のおよその時刻》

時間	2:10	12:20	備考
4時間授業			
5時間授業	3:10	2:40	月1~6年⇒3:00 休1~3年⇒2:45
6時間授業	3:50	3:30	委員会・クラブの日も 休4~6年⇒3:50

《朝タイム》

月	火	水	木	金
チャレンジ学	朝会・集会	チャレンジ	朝読書	チャレンジ学級

《各学年・各曜日/授業コマ割り》

学年	月	火	水	木	金	
1学年(週25h)	1	1	6	11	16	21
	2	2	7	12	17	22
	3	3	8	13	18	23
	4	4	9	14	19	24
	5	5	10	15	20	25
	6					
2学年(週26h)	1	1	6	11	17	22
	2	2	7	12	18	23
	3	3	8	13	19	24
	4	4	9	14	20	25
	5	5	10	15	21	26
	6					
3学年(週27h)	1	1	6	12	18	23
	2	2	7	13	19	24
	3	3	8	14	20	25
	4	4	9	15	21	26
	5	5	10	16	22	27
	6					
4学年(週28h)	1	1	6	12	18	23
	2	2	7	13	19	24
	3	3	8	14	20	25
	4	4	9	15	21	26
	5	5	10	16	22	27
	6					
5・6学年(週28h)	1	1	6	12	18	23
	2	2	7	13	19	24
	3	3	8	14	20	25
	4	4	9	15	21	26
	5	5	10	16	22	27
	6					

《週課表》～原則～

放課後の会議等	月	火	水	木	金
pm3:30~ 研修会 職員会議 (企画・倫理委)		pm4:20~ 部会日 ◇教科・教科外 ◇各種委員会 ◇生徒指導部会 ◇学校運営三部会 等	pm4:20~ 研修日 ◇研究推進委員会 ◇全体研修会 ◇研究三部会 等	pm4:20~ 職員集会 第1週:児童委員会 第2・4週:クラブ ～原則として～	pm4:20~ 学年会

《チャレンジタイム》 am8:30~8:40
月曜日 水曜日 金曜日
◆学力向上……基礎基本プリント学習 等
◆徳力向上……道徳資料の読み込み 等
◆学級力向上……話し合い、学級集団作り

《のびのびタイム》 原則:毎週 木曜日 pm1:15~1:50(清掃無しロング昼休み/35分間) ◆授業参観・懇談会 等で「そうじが必要」な日は、無し(延期とする)。
※学級力調査から得た学級課題解決のための時間とする ◆今後、年間を通しての予定を計画立案していく。【担当:体育部・特活部】

【資料2】カリキュラムマネジメントの工夫

学びの窓（授業の風景）
資料名「心と心のあく手」
【B（6）思いやり・感謝】

小学校学習指導要領解説「道徳編」
「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」

<登場人物>
・ぼく・おばあさん

「荷物、持ちます。」と言ったのは、勇気がある。
「荷物、持ちます。」と言ったのは、親切。

「残念に思った」だけでいいの
か。
「残念に思った」のは、なぜ
か。
せっかく声を
かけたのに残
念に思った。

「ずっとおばあさんのことを考えた」
のは、なぜなのか。
それからずっ
と、おばあさん
のことを考え
ていた。

「ずっとおばあさんのことを考え
た」とは、一体何を考えたのか。

「おばあさんはとても苦しそうだ」から、ぼく
はとても気持ちがわかるんだ。

荷物、持ちます。
おばあさん、本当に喜んで
いたのか。
断ったのはなぜだろう。
苦しそうなのに。
ありがとうね。
でも、…いい
ですよ。
どうしてむずめさんと買
い物に行かないのか。

ぼく
おばあさん

☆徳カタイムで問題になったこと☆
ぼくはどうしたらいいのだろう。

「ぼくは、どうしたらいいだろうと考えた」。
ぼくは、どうするのがいいのか考えたい。
みんなは、どうするの考えたい。
自分だったら、どうするのがいいのか考えたい。

【資料3】 児童の問題意識を中心とする学習過程の工夫

段落	学習活動	児童の活動 (○)	指導上の留意点(◎)評価(☆)
導入 5分	1 これまでの話から、主人公の葛藤状況を確認する。	○ぼくはどういったことで悩むのか。 ○資料の確認。	◎前時に配布した資料をもとに、前時に練った自分の考えを再確認させる。
展開 35分	2 学習問題を確認し、話し合いを進める。 前時の授業で行った判断の理由を掲示する。	○話し合いの6つのルールを確認をする。 ○授業の風景を確認する。 学習問題 「ぼく」は、どうするべきか。 「討論する」視点	◎みんなの判断や意見も押さえる。 ◎発言にはそれぞれ理由を述べるように促す。また、他の児童の意見を聞く際には、理由に着目させる

A 声をかける <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力がないから。 ・ 倒れる前に助ける ・ 手を貸した方が親切だ。 	B 声をかけない <ul style="list-style-type: none"> ・ お母さんに言われたから。 ・ おばあちゃんは努力しているから ・ 声を掛けるとおばあちゃんのじゃまになる。
--	---

		○ 意見の根拠を伝える中から、互いの意見でも納得できる部分をクラス全体で共有していく。	☆ 児童の考えを促進させるために、適宜自力解決・ペアでの話し合いの時間
		最終問題 -ぼくの行動をふりかえって- 「ぼくがしたことは正しかったのか？」 「ほかに方法はないのか？」	
	3. 自分の最終判断をまとめる。	○話し合いを終わらせ、これまでの自分の考えをワークシートにまとめる。 ○意見に変容があった児童をピックアップし、発表させる。	☆ 思いやりについて多面的・多角的に考え、討論を通して意思決定できる道徳的な判断力を高めることができる。
終末 5分	4. 先生の話聞く。	○資料の続きを読み、自分の考えと照らし合わせながら、価値について考える。	

【資料4】ア 行動の善し悪しを考える指導案例

(「心と心のあく手」(みんなのどうとく 4年、学研)を資料とした指導案例)

本時の学習

(1) ねらい

思いやりや親切について議論することを通して、自分の考えを深め、相手に思いやりの気持ちを持ち、進んで親切にしようとする道徳性を育てる。

(2) 展開

段落 (時間)	学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点(◎)評価(☆)
導入 5分	1、条件・状況を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センターで転んでいるおばあさんを見た。 おばあさんは歩く練習をしている。 ひとみは、おばあさんを助ける方がいいのか迷っている。 	◎前時に配布した資料をもとに、前時に練った自分の考えを再確認させる。
展開 35分	2、テーマを確認し、話し合いを進める。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> テーマ：本当の思いやりとは何だろう。 </div>	
	問1 おばあさんは、立ちあがらせてほしいのか。	<ul style="list-style-type: none"> 足を強打していたら自力では立ち上がれないから立ちあがらせてほしい。 せっかくりハビリをしているのだから、自分で立ち上がりたい。 	◎おばあさんの状況によって、ひとみの考えが変わることをとらえさせる。
	問2 ひとみはどうしたらいいのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> 助ける。 おばあさんに声をかけて、起こす。 「大丈夫。」とおばあさんが言ったら手伝わない。 見守ることが大切。 	◎二人それぞれの立場から多角的に考えさせる。 ◎グループでの話し合いをさせ、考えを深める。
	3、役割演技をしてどのように行動したらいいのかを考える。		◎ 学校応援団・地域の方におばあさん役をしていただき、児童にひとみ役をさせ、その時、どう対応したらいいのかを考えさせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A おばあさんが助けてほしい時 ・「大丈夫ですか。」と声をかけ、起こしてあげる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> B おばあさんが「一人で大丈夫。」と言っていた時 ・「がんばって。」と言って、見守る。 </div>	
終末 5分	4、本当の思いやりとは何か話し合う。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 学習問題：本当の思いやりとは何だろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 相手にやさしくすること。 相手が何をしてほしいのか考え行動すること。 自分の考えをワークシートに書く。 	☆ 思いやりについて多面的・多角的に考え、道徳的な判断力を高めることができる。
	5、本時のまとめをする。		

【資料4】イ テーマを追求する指導案例

(「どうする、ひとみ」(自作資料)を資料とした指導案例)

本時の学習

(1) ねらい

- ・自分の郷土（国）を愛する心を養い、大切にしていこうとする態度をもつ。
- ・議論することを通して児童が考える時間を設けるとともに考えを深めることができる。

(2) 展開

段落	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価
導入 5分	1. 資料の確認をし、前時にどのような疑問点や共感点があったかを掲示する。 2. 資料の登場人物、条件・状況について確認する。 3. 【問1】自分が藩士ならお米をもらわないことに納得できるか。 4. 話し合いを進める。 【問2】	・自分と同じ意見だ。 ・みんなの意見が参考になる。 【納得できる】 ・藩のこれからのことを考えて。 ・虎三郎を信じて。 【納得できない】 ・今が苦しいから。 ・みんなお米が食べたいから。	◎本時のねらいとする価値について考えさせ、意識付けとなるようにする。
展開 35分	問題 どうして、虎三郎はお米を配らなかつたのか。	・学校を建てて人を育てたいから。 ・長岡藩をよみがえらせるため。 ・これからのことを考えると、今我慢すべきだから。	◎発言にはそれぞれ理由を述べるようにする。
	【問3】 問題 どうして藩士は、学校を建てるという虎三郎の考えに納得できたのか。	・家族を守りたいから。 ・しっかりした人がたくさんいればあらそいごとが起こらないから。 ・賢い人を育てた方がいいから。 ・学校を建てると人物が養成されるから。	
終末 5分	5. 【問1】をもう一度自分が藩士ならお米をもらわないことに納得できるか。 【学習問題】	学習問題 虎三郎と藩士の共通の願いは何だろう。	◎今後の自分の行動について考えさせる。 ☆集団生活を快適に過ごしていくためにはきまりが必要であることに気づかせ、価値を高めることができた。
	6. 本時のテーマを掲示する。 テーマ 郷土を愛するとは。	・長岡藩をよみがえらせる ・人物を養成する ・よりよい日本をつくる	
	7. 先生の話聞く。		

【資料4】ウ 解決方法や対応を考える指導案例

(「米百俵」(私たちの道徳 小学校5・6年、文部科学省)を資料とした指導案例)

授業開発部

—主体性をもった問題解決的な道德授業の推進—

本主題で付けたいちから

1 問題意識をもたせる視点

道德の時間では学習問題を作る取組。児童から出てきた問いを授業で取り扱う。事前に教材を読み、自分の考えをもってから授業に臨む。

2 考える視点

根拠をもって（理由をつけて）自分の考えをもつ、それをもとに理由をつけて発言する。

3 議論する視点

話し合いの6つのルールの確認。お互いに聞き合い、理由をもって発言し合う。（資料参照）

4 総合的な道德力の育成の視点

個の内面だけでなく、道德性を伴った実践力。

・判断力を実生活に生かすため、シティズンシップ教育の視点を生かし、総合的なプロジェクトによる道德力の育成を生かす。

前小3つの授業スタイル

学習過程【問題の解決方法を考えるスタイル】

学習内容	予想される児童の反応	指導上の創意工夫
友達について意見をもち、 資料から疑問点を探し、 問題を考える。	友達についての学習であることを知る。 資料の精読精査、問題を考える。	教師とともに、自分たちで学習する習慣づくりをする。
テーマ：ともだちについてかんがえよう		
予想される問い 1 あひるとかめと白鳥はどうしてリスにだめといったのだろう。 2 リスさんはひとりぼっちでどんなことを考えたでしょう。 3 三匹は鳥であそんでいるときどんなことを考えたでしょう。	およげないから、およげないからしかたない、やさしいえばよかった。 二匹と入れてやんでやうものか、一人だつて楽しいもん、どうして仲間に入れてくれないんだ、うらんでやう。 楽しくない、リスさん一人の方が楽しい、鳥にやる方法はなかったかな、みんな仲良くする方法はないかな。	児童に問題意識をもたせる。 子どもたちの疑問点であるだけと受け、主体的な学びへとつなげる。 ペア討論、グループ討論により主体的な学びへとつなげる。
学習問題：みんなはどうすればよいだろう		
4 問題の解決方法を考える。 ・リスも仲間に入れる方法を考える。 ・遊ぶ場所について考える。 ・遊び方について考える。 ・仲間意識を考える。 自分の生活から、自分で考える。	鳥への行き方を考える習字にのせる、いかだをつくる。 鳥で遊ぶためには、鳥でなくてもよいのでは、みんなであそぶ、仲間はずれをつくらない。 相談して遊びをきめる、みんなですることが大切。 ともだちにやさしくする、困っているときは助けあう。	解決方法を考えさせることで仲間意識を育てる。 解決策を考えさせることで仲間意識を育てる。 模範を必ずもたせる。 学習としての意識をもたせる。 授業と自分とを結びつけ実践へとつなげるための考えの時間とする。

解決方法を探る

学習過程【行為の善し悪しを考えるスタイル】

学習内容	予想される児童の反応	指導上の創意工夫
友達について意見をもち、 資料から疑問点を探し、 問題を考える。	友達についての学習であることを知る。 資料の精読精査、問題を考える。	教師とともに、自分たちで学習する習慣づくりをする。
テーマ：ともだちについてかんがえよう		
1 どうして三匹は入れてあげなかったのか。 2 わざと仲間はずれにしたのだろうか。 3 わざと仲間はずれにしたことだ。	・およげないから、鳥で三匹はあそびたかったからしかたない。 ・わざとではないとおもう、およげないから仲間はずれにしたとおもう。 ・なかまはずれはよくないことだ。	問題をつくらせることで意欲化を図る。 教師とともに、自分たちで学習する習慣づくりをする。 ・社会性、公共性という観点から行為の正当性を問う。
学習問題：三匹はこれからどうすべきか 〔1回めの自己判断する〕		
あやまる	あやまらない	どうすべきかという行いとその理由を考える。
1 仲間はずれにした。 2 リスがかわいそうだから。 3 三匹もあそんでも楽しくない。	1 およげないからしかたない。 2 次の日に羽の運びで運んであげればいいので悪くない。 3 リスさんもおよげ練習をすればいいので三匹はわるくない。	最終的な判断をする ・合意形成を図る議論を案ねる
・今日の授業から学んだことをまとめる。	・まとめたことを発表する。	・行為が正しいか正しくないかを決める基準の確立づくりをする。（正当性の在り方を考える）

行為の善し悪しを考える

前小4つの授業ツール

授業の風景

児童が主体的に授業に望めるように、問題とと思うところもまとめて、授業に提示

価値分析表

授業者が授業で扱う価値について深く検討し図化する

話し合いの6つのルール

学習過程【テーマを追求するスタイル】

学習内容	予想される児童の反応	指導上の留意点
友達について意識をもつ。	友達についての学習であることを知る。	テーマを設定する
資料から疑問点を探し、問題を考える。	資料の精読働き、問題を考える。	問題とともに、自分たちで学習する姿勢づくりをする。
<p>テーマ：ともだちについてかんがえよう</p> <p>予想される問い</p> <p>1 あひろとかめと白鳥はどうしてラズにだめだったのだろう。</p> <p>2 ラズさんばかりでびつちでどんなことを考えたでしょう。</p> <p>3 三匹はあやふさんでいるときどんなことを考えたでしょう。</p>		
<p>学習問題：ともだちをたいせつにするとは、どうゆうことだろう</p> <p>4 友だちを大切にすることはどうゆうことだろう。</p>		
自分の生活から、自分で考える	ともだちにやさしくする、困っているときはたすけあう。	授業と自分とを結びつけたい。つなげるための、考えの整理とする。

児童に問題意識をもたせる

自分の考えを表明する

テーマについて議論し深める

テーマを追求する



話し合いの6つのルール

- だれかが話をしている人がいる間は、だまって聞く。
一人一人自分の意見を表明することができる。
- 自分の意見は必ず理由をつけて言う。
→「なんとなく」だけでなく、自分の考える理由に「根拠」をもつ。
言の筋に「〇〇さんと同じで」「つけたしで」など言葉を入れる。
一人一人に伝えようという意識で、
由は納得できたらその意見は正しいと認める。
一人一人の意見に耳を傾け、納得できるかよく考える。
意見は変えても良い。変えた場合は、その理由を言う。
一人一人の意見が納得できるまで、一人一人で

心の泉

その授業で扱う道徳的価値を教育活動全体でどう学ばせるかをくわしくまとめたもの



話し合いの6つのルール

前小 スタイル

1. だれか話をしている人がいる間は、だまって聞く。
→みんな自分の意見を発言することができる。
2. 自分の意見は必ず理由をつけて言う。
→「なんとなく」だけでなく、自分の考える理由に「根拠」をもつ。
3. 発言の前に「〇〇さんと同じで」「つけたしで」など言葉を入れる。
→みんなに伝えようという意識で。
4. 理由が納得できたらその意見は正しいと認める。
→みんなの意見に耳を傾け、納得できるかよく考える。
5. 意見は変えても良い。変えた場合は、その理由を言う。
→みんなの意見を聞いて、それが納得できれば、変えてもよい。
6. みんなが納得できる理由を持つ意見は、みんなでそれを行う。
→みんなで決めたことは、クラスみんなで実行！

【資料5】授業開発部

人間関係育成部

-思いやりを大切にし、よりよい人間関係の育成を目指す-

○日常の取組

①規律に関わる取組

- △個別小あいのりレベル
- △あいのり100冊カード
- △あいのり参拝者人
- △あいのり参拝アナウンス

ろうか歩行名人

- △あいのり100冊カード
- △あいのり参拝者人
- △あいのり参拝アナウンス

規律・マナー

②主体的な児童の活動

問題意識



- △ボクランフェア活動
- △恵み軒の体験 (高学年児童・各委員長)

「個別小あいのりレベル」の統計 (生活部・学習部)

思いやり・協力

③地域との関わり

- △地域の方による出陣授業
- △小中連携 (個別小あいのりボクランフェア)
- △チャームスツール
- △全寮のクラブの活動



地域愛



感謝

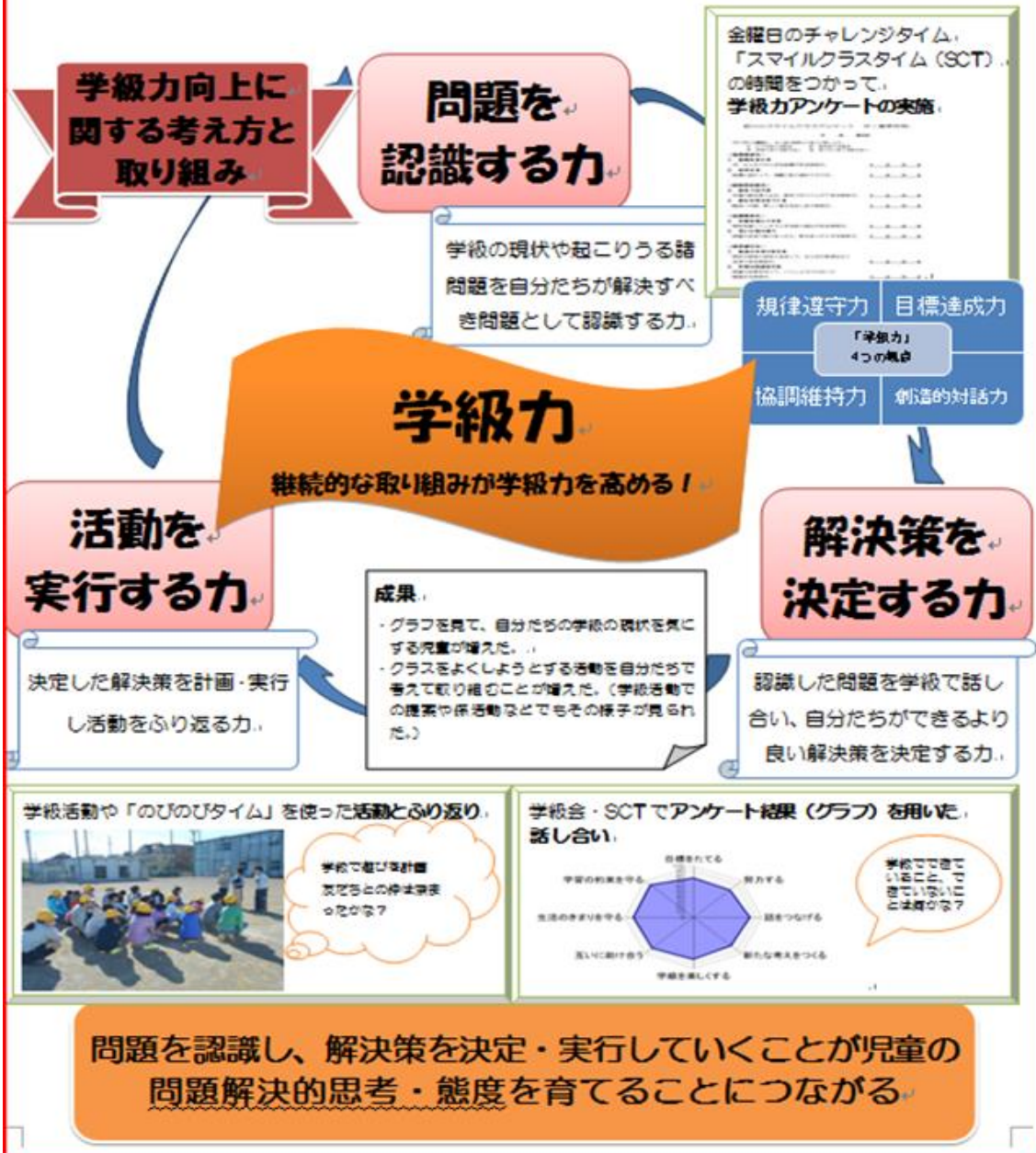
目指す児童像

「集団(学級、学校、社会)の一員として問題意識をもって主体的に学ぶ児童」

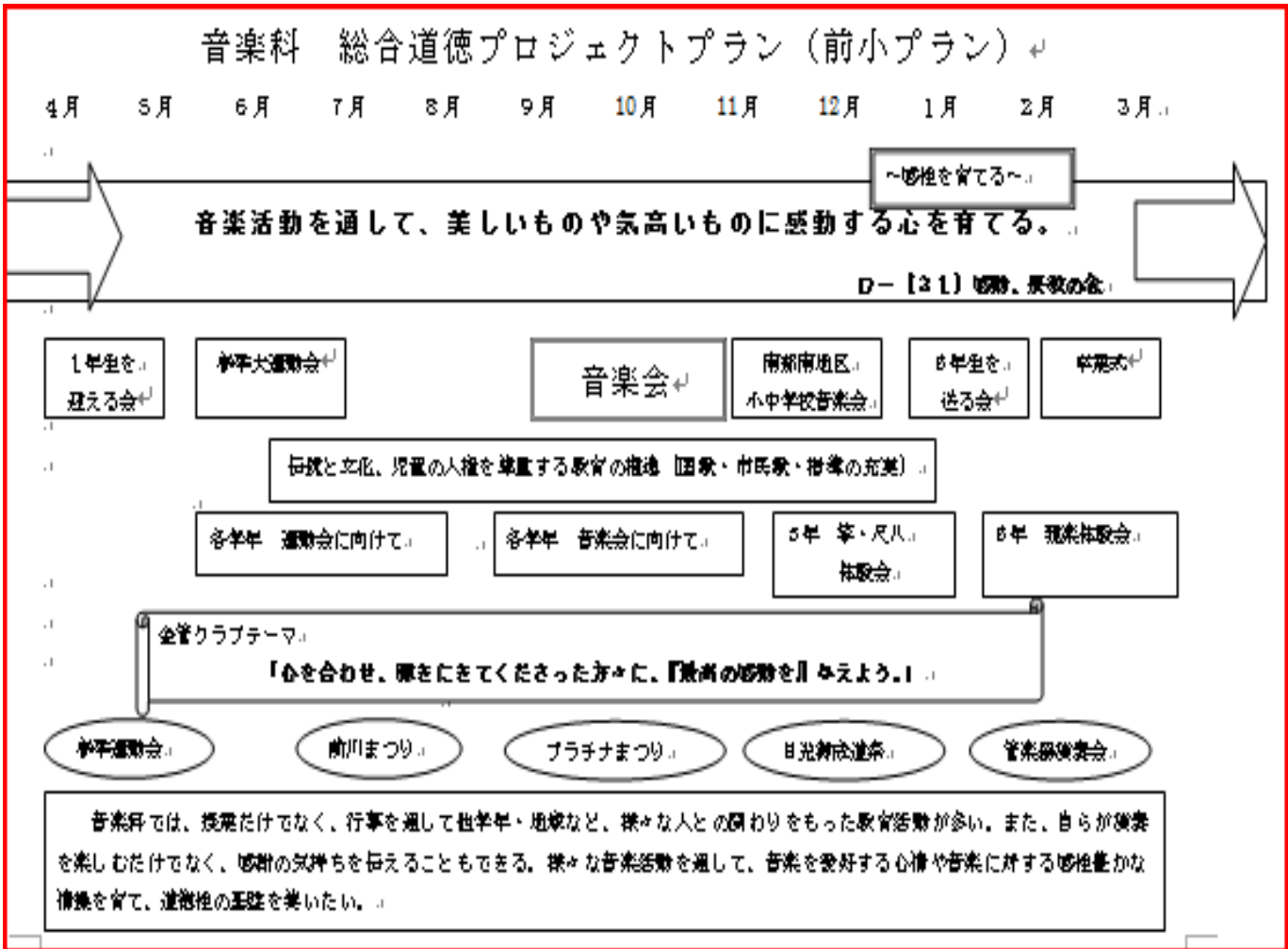
【資料6】人間関係育成部

学級力向上部

-学級力向上を通じて自治的・支持的な風土を作る-



【資料7】学級力向上部



【資料8】他教科と関連付けた体系的な道徳教育（例：音楽）

学びの意

教材名「心と心のかく手」 B(6)思いやり・感謝

小学校学習指導要領解説<道徳編>

「思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。そのためには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見いだそうとする姿勢が求められる。」

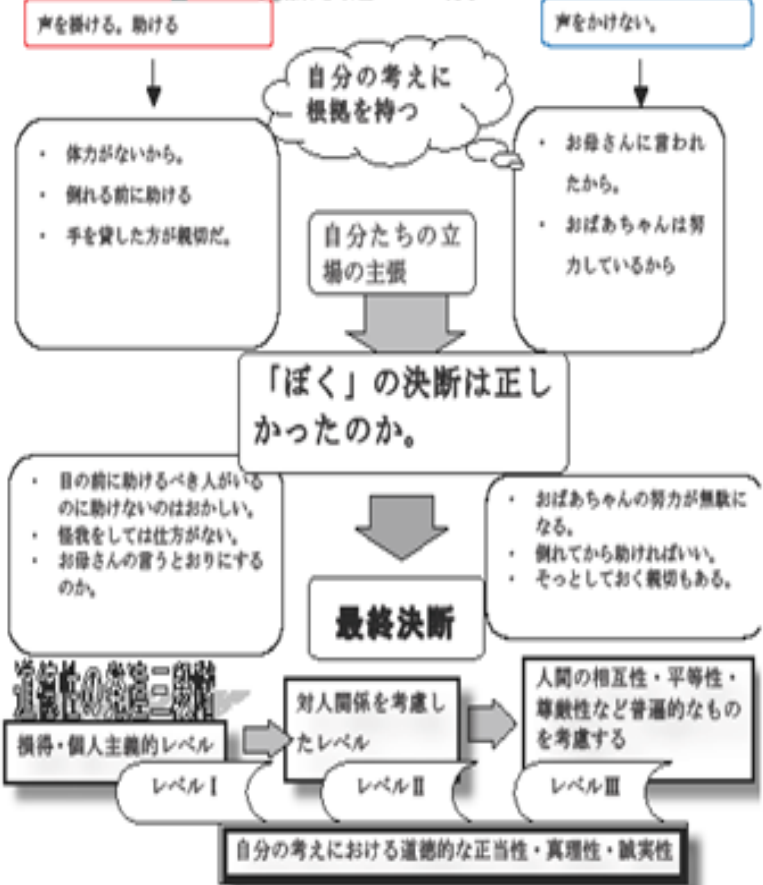
本時で扱う価値の分析表

B-(6) 「思いやり・感謝」
小学校低学年 6) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。
小学校中学年 (6) 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。
小学校高学年 (7) 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。
↓ 「中学校」
6) 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

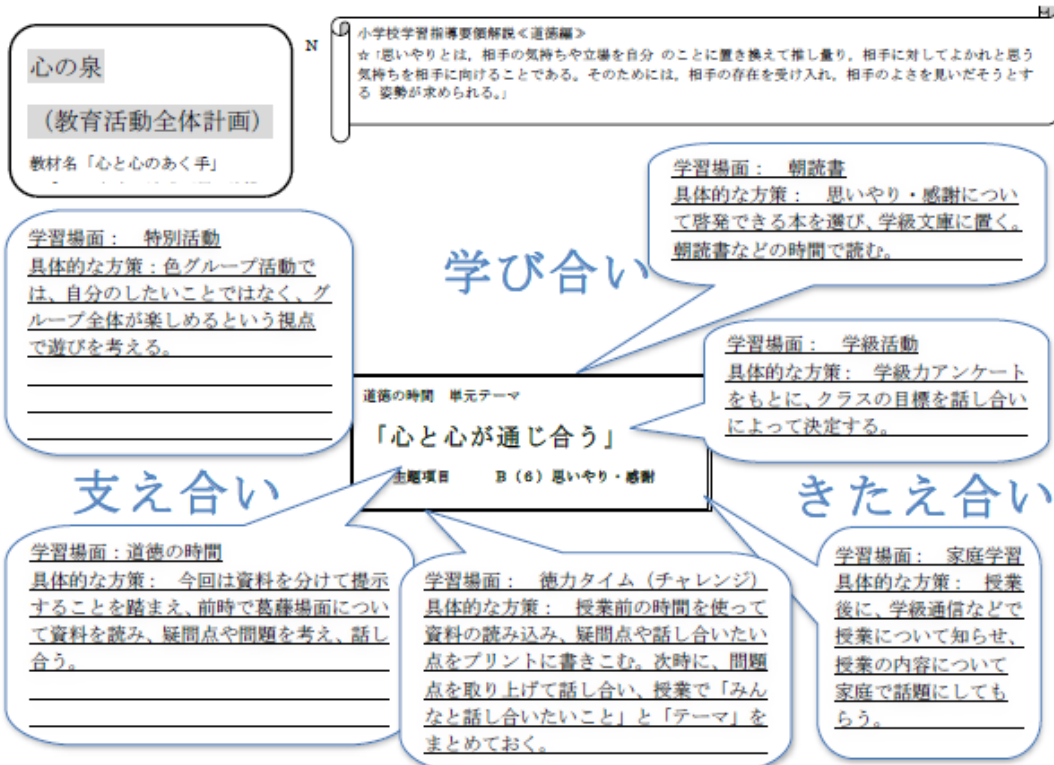
本時における児童の思考

「ぼく」は、どうすべきか。

葛藤状態の生成



【資料9】価値分析表



【資料9】心の泉